まちの話だい

3月10日 ｜ いよいよシーズン到来

県内の先陣を切って、初倉地区阪本のハウス茶園で、新茶の初摘みが行われました。

露地物より1カ月ほど早く、みずみずしい新芽を伸ばしたのは「やぶきた」。新茶の中でも特別に早く生産されたものは「大走(おおばし)り」とも呼ばれます。この日は、早朝から集まった農家の女性15人が萌黄(もえぎ)色の「一芯二葉(いっしんにょう)」約40kgを手際よく摘み取り、5kgほどの荒茶に加工されました。

3月20日 ｜ SLの迫力を体感

大井川鐵道新金谷駅などで「SLフェスタ」が開催され、多くの鉄道ファンや家族連れなどが訪れました。

レールスター、てトロなど、毎年人気のアトラクションが今年も登場し、来場者は鉄道と大井川の魅力を存分に体験していました。また、大井川鐵道は当日、約半年ぶりに全線開通。新金谷駅を出発する「SLかわね路号」の汽笛が鳴ると、大きな歓声が上がりました。

2月14日 ｜ 島田の和菓子を堪能

川越し街道で、市内の老舗和菓子屋9店などが銘菓を販売する「和菓子バル」が開催されました。

番宿など復元家屋前に並べたブースで、着物姿や和菓子職人姿の島田商業高校の生徒が、各店舗の自慢の和菓子を販売。思い思いに商品を選び、それぞれの商品に合う緑茶を購入した来場者は、暖かな日差しの下で、街道沿いの江戸風情と伝統の味を堪能していました。